

愛媛県松山東警察署協議会会議録
(令和5年度第3回)

日時	令和6年2月29日（木曜日）午後1時30分～午後3時45分	
出席者	1 警察署協議会 会長以下11人 2 公安委員会 公安委員長 3 警察署 署長以下16人	
議 事 概 要	1 会長挨拶 (1) 昨年11月に開催された警察署協議会代表者連絡協議会の報告 (2) 積極的な意見要望等の発言について依頼 2 署長挨拶 (1) 昨年、松山東署が対応した事件事故や取り組んだ施策について (2) 諮問を含めた警察業務に対する忌憚のない意見について依頼 3 業務推進結果、業務推進計画 (1) 業務推進結果（令和5年9月から12月までの間） (2) 業務推進計画（令和6年1月から4月までの間） 事前に書面送付した上で、パワーポイントを活用し、説明した。	
	諮問	答申
	令和6年松山東警察署運営目標について	1 県民の安全・安心を守る犯罪抑止対策の推進 ① 「子供・女性・高齢者等を犯罪被害から守る」とあるが、男性が含まれない理由は何か。 2 県民の生活を脅かす犯罪への対処 ① 匿名・流動型犯罪グループとは、どのようなグループを指すのか。 3 県民を交通事故から守る活動の推進 ① 高齢者が、交通事故の加害者にならないよう、どのような対策を行っていくのか。 ② 運転免許証を返納した高齢者が、代替利用できる交通手段等はあるのか。 4 災害やテロ、全国植樹祭等に備える取組の推進 特になし。 5 警察活動を支える取組の推進 特になし。
	4 答申に対する回答 【回答】 上記1①について 特に被害に遭いやすい方々を例示列举して、犯罪被害から守るための取組を推進するという趣旨であるため、ご理解いただきたい。	

【回答】 上記 2 ①について

匿名性の高い SNS 等で連絡を取り合い、緩やかな結びつきで離合集散を繰り返すなど、そのつながりが流動的で、匿名性の高い通信手段を活用しながら特殊詐欺や集団強盗等の犯罪を敢行する犯罪者グループの対策が全国的に課題となっている。準暴力団を含むこうした集団を、新たに「匿名・流動型犯罪者グループ」と位置付けたところであり、目標に組み込んでいる。

【回答】 上記 3 ①について

令和 4 年 5 月に高齢者の免許制度が改正されており、基準を満たさない高齢者は免許更新ができない制度となっている。松山東署としては、交通安全教室等を通じて、高齢者が交通事故の加害者も被害者にもならない取組を推進してまいりたい。

【回答】 上記 3 ②について

定額料金で利用可能な相乗り送迎サービス等を実施している団体等があると聞いている。

5 質疑応答等

【質問】

テレビのニュースで、防犯カメラに映る犯人の顔にぼかしがかかっている場合がある。ぼかしがない方が検挙に繋がるのではないか。

【回答】

ぼかしを入れるかどうかについては、警察から指導等はしておらず、報道各社が独自に判断していると認識している。

【質問】

人身安全関連事案の態様で、ストーカーやDVに当てはまらない「その他恋愛暴力」とはどのようなケースがあるか。

【回答】

ストーカーやDVは、法律上その態様が定義されている一方、その他恋愛暴力の態様は、それら定義に当てはまらない「恋愛感情のもつれ」に起因するトラブル等が挙げられる。

【質問】

不良行為少年は、具体的にどのような不良行為をして補導されたのか。また保護者には、どのような対応をしているのか。

【回答】

最近では、SNS で連絡を取り合った少年らが、フリーWi-Fi を使用できる店舗等に集って、深夜帯に補導される例が挙げられる。保護者には、補導状況を連絡の上、その後の監護を依頼するが、場合によっては児童相談所と連携した対応も行っている。

【質問】

こういった少年らが、集する理由は何か。

【回答】

最近では、少年らがインスタグラムやティックトックと言った SNS で

ライブ配信を行い、その配信を見た少年らがその場所に集まる傾向が見られる。仲間意識によるものか一時的な盛り上がりによるものか、何を目的に集まるのか、その実態は分からないことも多いと感じている。

【質問】

非行防止教室は、要望すれば対応してもらえるのか。スポーツ少年団の指導に当たることになり、所属する子どもたちに対して警察官から直接指導していただければ効果も高いのではないかと考えている。

【回答】

非行防止教室については、小学校や中学校からの依頼が多いところ、地区や団体からでも依頼があれば、可能な限り対応する。

【質問】

若年層における市販薬の過剰摂取、いわゆるオーバードーズが全国的に問題となっているところ、松山東署管内の現状は如何か。

【回答】

現状、目立った取扱いはないが、そのような情勢を踏まえた非行防止教室等による未然防止活動に取り組んでいる。

【質問】

横断歩道を新設する際、どのような設置基準があるのか。

【回答】

既に設置済の横断歩道が付近にある場合、その横断歩道と一定の間隔が必要であり、市街地であれば100メートル以上、非市街地であれば200メートル以上と定められている。

【意見】

繁華街における少年補導活動等は、効果的な取組と考えるため、引き続き実施していただきたい。

【回答】

今回は、法人団体が定期的に行っている活動に参加して繁華街の清掃活動を行ったもので、参加者からも好意的な意見があったため、今後も様々な取組を推進してまいりたい

6 公安委員長講評

- い集を始めとした少年の不良行為を防止するためには、警察のみならず、社会全体の協力も不可欠であるため、今後も警察活動に対するご理解・ご協力をお願いしたい。
- 高齢者が関与する交通事故については、加害者・被害者いずれの場合でも重大事故につながるおそれがあるため、力を入れて取り組んでいく必要があると考える。
- 高齢者の運転免許証の返納に関する議論は、代替利用できる交通手段をテーマとする場合が多いものの、明確な解決策を導き出すことは難しいため、今後も活発に議論していく必要があると考える。

7 その他

会議終了後、出席者は、当署10階災害対策室において、災害対策用装備資機材等の視察を行ったほか、能登半島地震に派遣された機動隊員から活動内容の説明を受けた。